

エッジ・デバイス管理サービス ユースケース(製造業)

点在する工場にある生産設備・製造装置の稼働状況を一元管理・可視化
リモート管理で保守業務を効率化、設備所有者の満足度を向上

このようなお客様に

- 納めた製造装置の状態をタイムリーに把握しプロアクティブな保守サービスを実現したいフィールドサービス業の方
- 保守コスト(要員の確保、移動コスト)の削減や事業継続性の向上を実現したい設備所有者の方

特長・導入効果

- エッジ・デバイスやデバイスデータに基づく設備の情報をクラウド上で一元管理・可視化し、広範囲に散在する機器管理の負担を削減
- 地域や機種など複数の軸でのグルーピングによる管理やパッチ配布によるセキュリティ維持、リモートコマンドやログ収集でメンテナンスを効率化

お客様のメリット/提供価値

- 広範囲に散在する機器の定期点検や状況把握を遠隔から行えるようになり、フィールド業務を効率化
- 感染症や震災時など移動がリスクになるような災害時にも現地に行かずに状況を確認可能
- 異常の早期発見により業務停止時間を最小化、ビジネスへの影響を低減し設備所有者の満足度を向上

活用イメージ

